

動物の体のつくりと運動

まとめプリント

重要語一覧 ほね こっかく 体を支える きん肉 縮む 骨につく 関節 曲げる ひじ・ひざ 動物
動き方

学ぶべきこと

Lesson 01 ほね — 体の中の柱

重要語：ほね | こっかく | 体を支える

- ほねの主なはたらきは何か。
- ①体を支える、②内臓を守る、③体を動かす、の3つである。
- ほねがなければ、ヒトの体はどうなるか。
- 体を立てて支えることができない。クラゲのように、形を保てなくなる。

まとめ：ほねは体を「支える・守る・動かす」3つのはたらきをもつ。

Lesson 02 きん肉が体を動かす

重要語：きん肉 | 縮む | 骨につく

- きん肉はどうやって体を動かすか。
- きん肉が「縮む」と、付いているほねを引っ張る。それによってほねが動き、体が動く。
- うでを曲げるとき、内側のきん肉はどうなっているか。
- 内側（力こぶの部分）が縮んでいる。同時に外側のきん肉は伸びている。

まとめ：きん肉は縮むことでほねを引っ張り、体を動かす。

Lesson 03 関節 — ほねが動く境目

重要語：関節 | 曲げる | ひじ・ひざ

- ほねとほねがつながって動く部分を何というか。
- 「関節」という。ひじ、ひざ、指の付け根などがその例である。
- 関節がない部分はどうなるか。
- 曲がらない。例えば「うで全体」のほねがひとつながりだったら、腕は伸ばしたままで物がつかめなくなる。

まとめ：関節＝ほねとほねの境目。ここで体が曲がる。

Lesson 04 動物のほねときん肉

重要語：動物 | ほね | 動き方

- 鳥が空を飛べるのはなぜか。
- 羽を動かす大きなきん肉と、軽くて中が空洞のほねをもつためである。
- 魚はどうやって泳ぐか。
- 体の左右に並んだきん肉を交互に縮めて、しっぽを左右に振って進む。

まとめ：動物のほねときん肉は、暮らし方に合わせて形を変えている。